

会館だより

2013年 1月号 第283号



公益財団法人 日中友好会館

「会館だより」1月号の内容

年頭のご挨拶

行事案内

《日中友好会館美術館》

- ・新春展「☆空飛ぶ芸術☆
— 山東省濰坊^{いぼう}の世界」

《日中友好後楽会》

- ・新春談話会
- ・後楽会友好バスハイク特別編—
「山東省濰坊^{いぼう}の世界展」関連イベント
“ 濰坊の風を揚げてみよう！ツアー
2013 ”

活動記録

- ・後楽会(中国)友好聯誼会年次総会
- ・東京都日中友好協会記念行事で
後楽寮芸術団が公演
- ・後楽寮生へ絵画が贈呈されました
- ・第十七回中国教育関係者代表団
「キズナ強化プロジェクト」で来日

会館行事と人の動き

表紙

『龍門を鯉がのぼる』

山東省濰坊(いぼう)の立体凧

幅160cm×高90cm 濰坊凧職人 孫継和 作

(2013年2/1～2/24開催

「山東省濰坊^{いぼう}の世界展」より)

年頭のご挨拶



(公財) 日中友好会館
理事長 武田勝年

皆様、明けましておめでとうございます。昨年、私共日中友好会館にとって大きな変化・変革と試練の年でありました。4月1日、公益財団法人に移行し新しい法律に基づいた組織運営が始まると共に、程永華駐日大使には名誉顧問にご就任頂き、江田五月会長のご指導の下、役職員全員が新たな気持ちで事業に取り組み始めたところで、9月には中国各地で領土問題に端を発する反日デモが発生しました。真に残念なことに、会館が実施している青少年交流事業や文化交流事業でも一部中止、延期がありました。一方、後楽寮に居住する200名を超える中国人留学生には何らの動揺は見られず、外部からのいやがらせや挑発もありませんでした。

各地の激しいデモを報道するテレビを見たり、中国当局の厳しい発言を聞いたりすると、諸先輩が築き上げて来られた日中両国間の相互理解・信頼の一角が脆くも崩れたかとの焦燥感に見舞われ、日々友好活動に携わる者として無力感さえ感じました。

今年は、会館が実施している事業の意義に自覚と自信を持って、实事求是（事実に即して物事の真相を追求する）の精神を肝に銘じて、周囲からの雑音を排して、「民間」「草の根」交流事業を一つ一つ着実に成功させたいと思っています。両国の青少年が双方向で相手国の真実の姿を知ることが、安定した関係構築の基礎になります。

皆様の変わらぬご支持とご指導をお願い申し上げます。



(公財) 日中友好会館
中国代表常任理事 王昆

皆様、新年明けましておめでとうございます。

関係者の方々のご支援とご協力により、財団法人日中友好会館は昨年の4月1日に公益財団法人日中友好会館になりました。これは私ども会館運営と中日友好事業にとって非常に重要なことで、意義深いことです。これを契機として、今後とも更に幅広い国民レベルでの交流を行い、中日友好促進に力を入れたいと思います。皆様の温かいご指導を切にお願いします。

昨年より、中日関係は両国国交正常化以来、最も困難な局面に入っていることを我々共に痛感しています。こうした困難な時期こそ、両国友好交流の拠点である日中友好会館は、今まで以上に努力し、真の中日友好の架け橋の役割を果たすべきです。

これから、江田五月会長の指導の下で、全役職員一同が会館の運営を着実にし、さまざまな分野で交流の輪を広げ、両国人的交流、文化交流など民間交流を一層深め、中日関係の改善に寄与したいと思います。

中日関係が一日も早く行き詰まりから抜け出し、正常な発展軌道に戻ることを心よりお祈りいたします。



行事案内

日中友好会館美術館

◆新春展「☆空飛ぶ芸術☆

ー山東省濰坊^{いぼう}凧の世界展」

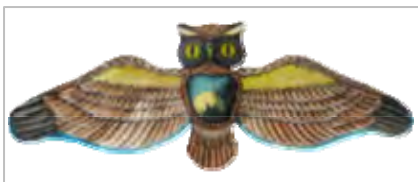
会期：2013年2月1日(金)～2月24日(日)

時間：10:00～17:00

休館日：水曜休館 入場料：無料

主催：公益財団法人日中友好会館

後援：中国駐日大使館、(公社)日中友好協会、日本国際貿易促進協会、(一財)日本中国文化交流協会、日中友好議員連盟、(一財)日中経済協会、(社)日中協会、日本の凧の会



ふくろう



ネズミの嫁入り

中国の春節(旧正月、2013年2月10日)の時期に合わせ、山東省濰坊市の代表的な民間工芸である「凧」の工芸展を開催いたします。2010年の「山東省凧の世界展」の好評をうけ、3年の月日を経て、今回は山東省の中でも特に有名で歴史のある濰坊市の凧にスポットを当てます。

山東省濰坊市は中国四大凧産地のひとつで、立体的な凧が特徴とされています。今回は濰坊凧を作って50年、濰坊市政府公認の数少ない「凧明星(凧工芸優秀職人)」である孫継和氏がこの展覧会のために創作した約120点の凧を展示いたします。



龍頭ムカデ凧を揚げる孫継和氏

今回の目玉は、濰坊凧の最も代表的な30mの連凧「龍頭ムカデ凧」と、孫氏が再現に成功した2000年前の凧の元祖と言われる木製の「木鳶」や、指先ほどの小さなミニ凧です。熟練の技と精緻な世界を存分にお楽しみください。



ペンより小さいミニ凧

【関連イベント】

○凧制作実演：

2月2日(土) 10:00より約30分間、展覧会場にて。来日する濰坊凧職人が竹の骨組みを曲げるところなどを披露します。見学自由。

○凧揚げイベント：

2月2日(土) 14:00頃より、横浜海の公園(横浜市金沢区)にて。凧職人が濰坊の凧揚げを披露します。凧揚げ体験もできます。一般参加自由、予約不要。現地に直接お越しください。

詳細は下記までお問合せください。

【文化事業部 電話：03-3815-5085

e-mail: bunka@jcf.or.jp】

日中友好後楽会

◆新春談話会

日 時：1月24日(木) 17:30より
(受付17:10～)
会 場：レストラン「豫園」
(日中友好会館地下1階)
参加費：2,000円(会員)

2013年最初の後楽会行事は、毎年恒例の新年会です。会員、寮生が多く集まって賑やかに立食パーティを行いたいと思います。(講義はありません。)この機会に2013年の行事へのご希望、ご意見などもお聞かせ下さい。

皆様奮ってご参加ください。



◆後楽会友好バスハイク特別編— 「山東省濰坊市の世界展」関連イベント “濰坊の凧を揚げてみよう！ツアー 2013”

日 時：2月2日(土)
参加費：お一人6,500円(バス、昼食代込)
スケジュール：
10:00 日中友好会館集合、
展覧会・制作実演見学
11:00 昼食(日中友好会館内レストラン)
12:00 昼食後、貸切バスにて横浜海の公園
(横浜市金沢区)に移動
13:30～14:00 頃より
海の公園 浜辺スペースにて
凧揚げ実演・体験(約1～2時間)
15:30 頃 終了、移動
17:30 頃 日中友好会館にて解散

当会館美術館にて2月に開催する「☆空飛ぶ芸術☆山東省濰坊市の世界展」に際し、濰坊市より来日の凧職人の孫継和先生による、濰坊の凧揚げ実演を行います。

龍の頭のついた30m以上ある連凧や、大型凧、立体凧など様々な凧揚げを披露いたします。また、参加の皆様は濰坊の凧揚げを体験していただけます。

後楽寮生と交流しながら一緒に中国の凧揚げを楽しみませんか。

お申込みは先着順となります。定員がございますのでご希望の方はお早めにお申し込みください。

【申込み・問合せ】後楽会事務局 小林陽子

電話：03-3811-5305

FAX：03-3811-5263

メールアドレス：kourakukai@jcfc.or.jp

※年末は12月27日まで、
年明けは1月7日以降に
ご連絡をお願いいたします。

活動記録

◆後楽会(中国)友好聯誼会年次総会



羅民会長(左4) 武田理事長(左6)を囲んで

1985年に現在の後楽寮ができてから約4,000名の留学生が寮を巣立っていき、今では中国国内や日本の各分野で活躍しています。昨年11月には中国にて沢山の元寮生や元会館職員が集まり、後楽会(中国)友好聯誼会成立大会が盛大に行われました。

今年も昨年に引き続き、12月1日に北京元辰鑫国際飯店で年次総会が開催されました。日中友好会館からは武田理事長、留学生事業部の周部長と田辺部長代理が参加し、後楽寮OB・OGの皆さんと大いに交流を深めました。今回の参加者の最高齢は73歳で後楽寮の前身である善隣学生会館の寮生だった方でした。また、つい最近退寮した20代の現役大学院生の方も参加し、年齢や在寮年代が本当に幅広い会となりました。

後楽寮事務室(現在は留学生事業部)の元室長代理である陳曙光氏の司会で会は始まり、同じく元室長の羅民会長と武田理事長の挨拶に続き、元会館中国代表理事の呉從勇氏や1981年に善隣学生会館に在寮していた元寮生の祝辞もあり、その後それぞれの年代やまた自分とは違った年代、分野の方達との交流も同時に行われ大盛況でした。

今後も後楽寮を巣立っていく寮生はますます増えていきます。留学生事業部では後

楽会(中国)友好聯誼会と連絡協力し、元寮生のネットワークをさらに広げていきたいと願っています。(留学生事業部)

◆東京都日中友好協会記念行事で 後楽寮芸術団が公演

11月16日、港区青山の梅窓院で東京都日中友好協会による日中国交正常化40周年記念集會が行われ、後楽寮芸術団が演奏と歌を披露しました。

これには東京都日中友好協会の会員など180人が集まり、中国大使館の韓志強臨時代理大使の講演や宇都宮徳一郎会長をはじめとするパネリストによる討論会も行われました。

後楽寮芸術団は第1部を担当、今回は3名の寮生による阮咸、古箏、キーボードの合奏と歌の披露で開会を盛り上げました。参加者のほとんどが初めて芸術団の公演を鑑賞したようで、4曲の演奏とソプラノの歌に魅了されていたようでした。

今後も東京都日中友好協会をはじめとする友好団体の記念行事には留学生事業部と後楽寮寮生委員会が力を合わせ、できるだけご協力していきたいと思っています。



後楽寮芸術団の演奏

(留学生事業部)

◆後楽寮生へ絵画が贈呈されました

先日、小川游画伯より寮生へ絵画の贈呈があり、11月16日に贈呈式を行いました。式当日は後楽寮寮生委員より小川画伯へ感謝状をお渡ししました。

「寄贈にあたって」 小川 游

このたびご縁があつて、拙作を寄贈させて頂くこととなりました。私自身、1932年に中国吉林省四平街に生を享けたこともあり、感慨深いものがあります。

勉強のため海を越えて、この日本に来ておられる若い中国の学生さんたちの日常に安らぎの一刻を生み出すためにお役にたてましたら望外の幸せと考えます。



小川画伯（中央）と新旧寮生委員
（留学生事業部）

◆第十七回中国教育関係者代表团 「キズナ強化プロジェクト」で来日

11月11日から11月18日までの日程で、第十七回中国教育関係者代表团（団長＝王占起・中国日本友好協会政治交流部部長）が来日した。

本事業は、日中相互理解増進事業として、平成8年度より継続している、中国の小・中・高等学校の教員並びに教育関係者の招聘事業。17回目となる今年は、外務省が実施する「アジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流（キズナ強化プロジェクト）」

の一環として実施。北京市6省から計25名が来日し、東日本大震災の被災地への訪問とともに、東京、京都、大阪において視察や交流を通じて、日本の教育事情についての理解と知識を深めた。



歓迎会で挨拶する江田五月日中友好会館会長

東日本大震災被災地～茨城県 日立市を訪問

代表团一行は、キズナ強化プロジェクトに基づき、茨城県日立市を訪問した。

日立市ではまず日立市消防本部を訪問。署内の見学、日立市の被災状況や地震発生時の対応について説明を受けたのち、実際に消防服を着てみたり、濃煙体験に参加したりした。

続いて茨城県日立北高等学校を訪れ、中国からの留学生、教職員との交流の他、学校の防災対策や、東日本大震災発生後に学校が避難者を受け入れた経験などの説明を受けた。

また茨城県日中友好協会と交流し、茨城県及び日立市と中国との友好交流の歴史と現状について紹介を受けた。

日立市内では、被災現場を直接目にする機会は多くはなかったが、団員一同は訪問先との交流を通じ、防災・減災の意識を高め、被災地である茨城県日立市について多面的に理解を深めた。

教育分野の視察・交流は、東京で文部科学省でのブリーフと、港区立芝浦小学校、港区立高陵中学校への訪問、大阪で大阪府

教育委員会との懇談会と、大阪府立千里高等学校訪問、京都で立命館中学校・高等学校を訪問し、教育行政関係者や教師、生徒たちと交流した。中国各地から集まった小・中・高等学校の教員である団員からは、各訪問先で具体的な質疑応答が相次ぎ、いずれも予定時間を超えて活発な交流となった。



茨城県日立市消防本部で
地震発生時の対応について学ぶ

本団の受け入れにご協力下さった関係機関・関係者の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げたい。

(総合交流部)

会館行事と人の動き 11/1～30 (2012年)

● 会館行事

- 11/ 1 ▶ 後楽会気功・中国画教室
- 11/ 2～11/ 4 ▶ 小田原ホームステイ
- 11/11～11/18 ▶ 「第十七回中国教育関係者代表団」来日(11/12同団歓迎会、11/17歓送報告会)
- 11/12～11/18 ▶ 貸美術館催事「第15回国際水墨画交流展」(11/12同展開幕式)
- 11/15 ▶ 後楽会気功・中国画教室
- 11/16 ▶ 絵画贈呈式(後楽寮)
- 11/23～11/25 ▶ 貸美術館催事「第11回天真書法塾発表会」
- 11/25 ▶ 後楽寮寮生委員会主催紅葉狩り
- 11/27 ▶ 後楽会秋季ハイキング(江の島・新江の島水族館)
- 11/29 ▶ 後楽会会員総会(小石川後楽園涵徳亭)

● 来館・訪問・面会

- 11/ 5 ▶ 楓林 安田長弘氏 面会(武田理事長)
- 11/ 7 ▶ 三菱東京UFJ銀行東京公務部 来館(武田理事長他)
- 11/ 8 ▶ 中国国家観光局 張西龍東京首席代表 面会(江田会長、武田理事長、王理事)
▶ 張瓏庭理事 来館(武田理事長他)
- 11/29 ▶ NHK和賀正幸氏 来館(武田理事長)

● 行事参加、その他の活動

- 11/ 9 ▶ 中国大使館教育処主催紅葉狩り(後楽寮生)
- 11/13 ▶ 中国大使館教育処主催金融知識講座(後楽寮生)
- 11/14 ▶ 「第1回馬驍水墨画会・作家展」開幕式(於：中国文化センター、武田理事長)
- 11/15 ▶ 留団協定例会(於：後楽寮)
- 11/16 ▶ 東京都日中友好協会記念行事(後楽寮芸術団)
- 11/28～12/ 2 ▶ 武田理事長・留学生事業部訪中
 - 11/29 ▶ 清華大学国際合作与交流処 項目工作弁公室 李紅宇主任 訪問(留学生事業部)
 - 11/30 ▶ 中日友好協会井頓泉副会長との面談(武田理事長)
 - 11/30 ▶ 国家留学基金管理委員会 欧亜非事務部 力洪主任他 訪問(留学生事業部)
 - 12/ 1 ▶ 後楽会(中国)友好聯誼会 年次総会